

令和4年度 社会福祉法人安養寺福祉会 杉の子保育園 自己評価 結果

【保育士等による自己評価 結果】

A : そう思う B : まあそう思う C : あまりそう思わない D : そう思わない

内容	評価			
	A	B	C	D
I 保育目標・保育方針				
1 園の保育目標や保育方針は理解している。	4	19	0	0
2 園の保育目標が子ども達の中に生きている。	8	15	0	0
3 園の保育目標は社会の要請や保護者の願いが反映されている。	5	15	3	0
4 園の保育目標は全職員の共通理解を図っている。	1	20	2	0
5 運営規程は職員や保護者に周知されている。	4	14	5	0
II 保育計画				
1 園の保育計画は、保育目標を生かして作られている。	8	15	0	0
2 子ども達の年齢ごとの保育計画がある。	12	9	1	0
3 園の保育計画は、園長・主任保育士と保育士が話し合いながら作られている。	6	17	0	0
4 園の保育計画は、必要に応じて見直されている。	6	15	2	0
5 園児のしたいことや、興味のあることを取り入れられるようになっている。	9	13	1	0
III 保育環境				
1 保育環境を常に清潔に保ち、美観を大切にし心地よい環境で保育が出来るように努めている。	8	13	2	0
2 室内の温度、湿度、換気、照明等は園児の活動に合わせて配慮している。	9	12	2	0
3 安心できる人的・物的環境をつくり「感覚」の働きを豊かにするように配慮している。	8	12	3	0
4 屋外での活動の場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている。	10	11	2	0
5 年齢の異なる園児が、触れ合えるような環境構成をしている。	8	12	3	0
IV 保育内容・方法				
1 全ての園児について、一人ひとりの最善の利益とその人権を尊重している。	9	13	1	0
2 園児にわかりやすい温かな言葉遣いで穏やかに話をしている。	3	16	4	0
3 基本的生活習慣は園児の発達を考慮し、家庭と連携して状況に応じて対応している。	4	14	5	0
4 身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性を育む考慮をしている。	8	9	6	0
5 園児同士の関わりで、順番を守るなどの社会的ルールを身に付ける配慮をしている。	10	11	2	0
V 食育				
1 いろいろな味に親しみ、喜んで食事ができるようにしている。	16	6	1	0
2 食材に興味を持ち、名前を覚えるような声掛けをしている。	11	10	2	0
3 食事中のマナーを知り、守って、楽しく食事ができる環境に心掛けている。	9	12	2	0
4 栄養素について興味・関心を持ち、苦手な食べ物も食べられるように工夫している。	5	16	2	0
5 野菜を育てる過程を楽しみ、収穫の喜びを味わい、達成感が得られるようにしている。	8	10	5	0
VI 保育士の役割・資質向上				
1 一人ひとりの園児をよく観察するように心掛けている。	8	13	2	0
2 全ての園児に平等に接するように心掛けている。	8	14	1	0
3 その場にふさわしい言葉遣いができる。	1	16	6	0
4 研修に行った研修内容は、全員に周知している。	5	13	4	1
5 園児のモデルとなれるように気を付けている。	3	16	4	0
6 保護者との信頼関係が出来ている。	1	16	5	1

VII 子育て支援

1	園児の送迎時に園児の様子を保護者に伝えている。	10	11	2	0
2	保護者の子育てについての相談にのっている。	4	13	3	3
3	子育て支援の内容について全員で話し合いをしている。	4	12	7	0
4	子育て講演、情報提供を行っている。	3	13	4	3
5	保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている。	5	15	3	0

VIII 地域住民や関係機関との連携

1	地域の人々と親しく挨拶ができている。	10	10	3	0
2	地域の人は、園のことに興味を持ったり、園の方針を理解している。	2	12	9	0
3	地域の行事に参加し、地域の文化や生活に触れている。	3	8	11	1
4	地域の人との交流を大切にしている。	3	12	7	1

IX 運営管理

1	園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している。	19	3	1	0
2	園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への対応ができる体制がある。	10	12	1	0
3	保護者の意見はしっかりと聞き、園長に報告している。	13	9	1	0
4	園の施設の安全点検、衛生管理をしっかりと行っている。	10	10	3	0
5	事故災害時のマニュアルがあり、対応がすぐにできるようにしている。	8	14	1	0
6	緊急時のために医療機関等の連絡先が決まっている。	10	10	3	0

【保育園による自己評価と改善】

I 保育目標・保育方針	保育園の理念・方針・目標を再確認しなければならない。また子ども一人ひとりの人権を尊重して保育を行う。
II 保育計画	職員間の共通意識のもとで保育計画の見直しが必要と思われる。コロナ禍等、状況に応じて変更も必要。
III 保育環境	ハード面の構築は、すぐに対応することは厳しいが、工夫した保育に取り組むことが大切。
IV 保育内容・方法	個々の成長をしっかりと把握し、それぞれの成長に応じた保育をしなければならない。
V 食育	毎月19日を「食育の日」と定め、毎月さまざまなカテゴリーを設け、食に関して興味を持たせている。
VI 保育士の役割・資質向上	研修報告は、毎月の職員会議にて周知されている。また保護者との連携にも努めている。
VII 子育て支援	子育てについての不安・疑問を逐次対応している。保育の様子を保護者に伝えている。気軽に相談できる環境構築の改善要する。
VIII 地域住民や関係機関との連携	地域のお祭りや敬老会等の行事に参加することで、世帯間の交流に繋がる。コロナ禍で実施できていない。
IX 運営管理	SNS等で簡単に情報が拡散される時代に、個人情報の漏洩は運営の危機に繋がる。守秘義務遵守を心掛ける。

【第三者委員による評価】

保育園内でも新型コロナウイルス感染防止対策で大変かと思います。保育園での行事や取り組みの報告をいただきましが、子どもの成長を育む保育活動がなされていて、とても素晴らしいと思います。飼育体験やお米づくり体験、食育にも力を入れているので、とても良い活動だと思います。今後も、子どもたちが健やかに成長できるように、子どもたちの保育並びに子育て支援の充実を図り邁進してほしいと思います。